

名古屋大学教育学部 2008年度 後期
教育方法学講義I
- 教育方法概論 -
第11回 講義資料 W
担当 柴田好章 (教育方法学・准教授)

学ぶ立場から教える立場へ(2) — 模擬授業の実施 —

本日の授業の目標

○模擬授業を通して教える立場を経験する。他グループの模擬授業に生徒の立場で参加する。これらを通して、学ぶこと・教えることの洞察を深める。

模擬授業の流れ

模擬授業の進め方 1グループ 10分以内
グループの全員が教室前方へ移動。
書画カメラでスライドを提示しながら模擬授業を行う。

1. 趣旨説明 1分

テーマ、想定する学習者、目標

2. 模擬授業 5分から8分

開始したら、発表者は、授業者役として振る舞う。
聞き手は生徒役に徹する。発問、指名をされたら、生徒になりきる。

3. 相互評価、発表者交替 1分

以下の観点を念頭に、良かった点、改善するとよい点について、記入する。すべての観点を網羅的に表記しなくてよい。強く心に残ったことをコメントする。

(相互評価シート)

相互評価シートの右上にグループ番号を書く。氏名は記入しない。文章でコメントを書く。

(参考：相互評価の観点)

5	スライドの構成	各スライドの内容と順序
6	絵と、文字と、口頭の区別	何を絵で、何を文字で書くか
7	関心を引き起こす工夫	指導者の個性を発揮して、...
8	考えさせる工夫	一方的な指導にならないために、...